



2022年度第2学期の面接授業が始まりました

科目登録受付期間は8月31日(水)までです

開講日	科目区分	科目名	担当講師	
10月15日(土) ～10月16日(日)	心理と教育	心理学実験2	山口大学准教授 山口大学准教授	小野 史典 沖林 洋平
	社会と産業	マスメディアと現代社会	山口大学教授	レール マルク
10月29日(土) ～10月30日(日)	基盤	大学生の就職活動とキャリア形成	山口大学教授	平尾 元彦
	人間と文化	萩で知る日本・東洋古美術の魅力	山口大学名誉教授	菊屋 吉生
11月5日(土) ～11月6日(日)	人間と文化	江戸時代の暮らしと環境	放送大学 山口学習センター客員准教授	金谷 匡人
	情報	プログラミングの体験	山口大学教授	赤井 光治
11月12日(土) ～11月13日(日)	基盤	実践的統計学入門	山口大学教授	北本 卓也
	生活と福祉	食と栄養と健康	山口大学准教授	森永 八江
11月19日(土) ～11月20日(日)	生活と福祉	食生活を考える	山口県立大学准教授	園田 純子
11月26日(土) ～11月27日(日)	自然と環境	暮らしの科学	山口大学教授	重松 宏武
12月3日(土) ～12月4日(日)	心理と教育	不登校の理解と支援の実際	宇部フロンティア大学教授	大石 英史
	自然と環境	地理学からとらえる自然災害	山口大学准教授	楳原 京子
12月10日(土) ～12月11日(日)	社会と産業	経営と会計	放送大学准教授	齋藤 正章
12月17日(土) ～12月18日(日)	情報	インターネット社会の進展と課題	山口大学准教授	阿濱 茂樹
1月7日(土) ～1月8日(日)	外国語	中国語初級	放送大学准教授	宮本 徹
	保健体育	健康づくりのための運動科学	放送大学 山口学習センター所長	杉浦 崇夫

★講師の先生を紹介します。掲示していない方のメッセージも届き次第掲示します。

小野 史典先生です(心理学実験2)

心理学実験を担当してる小野です。私の研究分野は認知心理学や知覚心理学です。例えば、錯視に代表されるように私たちが見ている視覚世界は実際とは異なって知覚されることがあります。こうした主観的な歪み現象を調べることによって、私たちの視知覚メカニズムを研究しています。授業ではなるべく分かりやすい説明を心がけています。どうぞよろしくお願ひします。



沖林 洋平先生です(心理学実験2)

心理学実験の担当の一人の沖林です。この授業科目では、主要な心理学実験を経験していただくこと、得られた結果にもとづいてレポートを書いていただくこと、実験を裏付ける心理学的な考え方を学んでいただくことを目的に、担当者が様々に工夫をしています。心理学について専門的な学習をしたい方だけでなく、心に関する不思議な体験をしたい方や心について科学的に考えたい方など、幅広く楽しみながら心理学に関する理解を深めていただける授業です。皆様の受講をお待ちしております。



レール マルク先生です(マスメディアと現代社会)

マスメディア論が専門のレールです。出身はドイツですが、30年以上も日本に住んでいます。「ドイツ人」より「山口県民」の自覚が強いです。自分が高校生だったころ、ドイツの新聞社で記者としてバイトをしてから、新聞に強い魅力を感じています。しかし、時代が変わって、紙メディアとしての新聞は危機に陥っています。デジタル時代で従来のマスメディアは生き残れるかどうかを一緒に考えましょう。

平尾 元彦先生です(大学生の就職活動とキャリア形成)

人生いろいろ、学びもイロイロ。就職活動は色々様々なのです。この講義は、就職の仕方を教えるものではありません。一般的な(←単に多いというだけの意味)大学生の就職活動を学び、人の生き方・働き方を学びます。ときおりワークを交えながら(グループではなく個人ワーク)、難しい話は、「へーそんなもんかいなあ」と軽くかわしながら進めます。「大学を卒業する」は人生の転機のひとつ。転機をどうするか!? 一緒に学びましょう。



菊屋 吉生先生です(萩で知る日本・東洋古美術の魅力)

この講義は山口県(防長二州)と、歴史都市としての萩とをとおして、そこに育まれた芸術文化(ここではとくに美術や文化財など)との結びつきを考える授業です。ただその方法は、単なる教室での知識や知見の獲得をめざすのではなく、受講生の皆さんに実際にそれら美術作品や文化財を、展示ケースごとではなく、間近で観て(熟覧)、触れて(取り扱い方)、体感してもらいながら理解を深めてもらう内容です。とにかく美術作品、そして文化財を目の当たりにしながら、世界遺産である古都・萩を満喫してもらう大人の修学旅行ともいえるものにできたらと思います。



萩市菊屋家住宅の新庭風景

金谷 匡人先生です(江戸時代の暮らしと環境)

みなさん、こんにちは。
私は20代前半の頃から、山口県をフィールドとして、漁村や農村・山村を巡って昔のことや当時の生活のありようなどの話を現地の方々から聞き、記録したり考えたりしてきました。こういう学びを「民俗学」といいますが、これを「歴史学」とあわせて見ていくと、学問領域を超えた「学ぶ喜び」がますます湧き出てきます。私にとってはこのクロスオーバーが趣味であり、仕事であり、また生きがいです。



金谷平郡

森永 八江先生です(食と栄養と健康)

村上もとかさんの漫画「JIN—仁—」と、これを原作としてTBSで2009年と2011年に放送されたテレビドラマがお勧めです。この漫画、ドラマで特に今回の授業に関係あるエピソードとしては、脚気があります。脚気はビタミンB1の欠乏症で、江戸時代にタイムスリップした医者主人公が、ビタミンB1が多く含まれる食べ物を使い患者を治療します。
<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/2022/03/28/1203.html>
の1分38秒くらいから私の動画が流れます。

園田 純子先生です(食生活を考える)

コンビニエンスストアやファストフード店などが身近にある現在、自炊をしなくても食べ物を簡単に手にできるようになりました。それだけに、自分で食べ物を選ぶように、できれば食事を作れるように、食の自立力が問われています。
今回の授業では、第6回目の食事作り(献立作成)の中で、献立作成の基礎を学びながら、カードを使ってお弁当作りを体験していただきます。まずは机の上で、そしておうちに帰ってから実際に料理作りを楽しんでみましょう!

重松 宏武先生です(暮らしの科学)

今まで育った理学部(6年)・工学部(9年)・教育学部(20年)で学んだ「基礎、応用、ものづくり、教育」をうまく融合して、山口の地で研究・教育を邁進中です。特に、かつて日本人が得意としていた「ものづくり」に力を入れ、授業に役立つ科学教材の開発やカリキュラム提案を行っています。本授業においても手作り教材を用いた小実験及び体験・観察学習を多く取り入れ、実体験を通じて理解が深まるように努めます。
さらに、クイズ形式を一部取り入れ、ゲーム感覚で楽しみながら学習できるように努めます。(http://shige.edu.yamaguchi-u.ac.jp/index.html)

大石 英史先生です(不登校の理解と支援の実際)

特技は、カメムシをガスを出さないように掌に包み込むことができます。趣味は、温泉にゆっくり浸かって、お湯の感触を味わうことや森林浴が大好きです。授業はシラバスに沿って行いますが、随時、問いを投げかけながら対話的に進めていきます。不登校支援について関心がある方は、私が支援員をしているフリースクールのホームページを紹介しておきますので、参考にしてください。

<https://shinonome-fs.com/>

宮本 徹先生です(中国語初級)

違う国や民族のことを正しく知ることは、本当に難しいことです。一人の人間であってもさまざまな面があるように、国や民族はさまざまな「顔」があり、その時々で、あるいは見る人によって、違った「顔」を見せてくれるからです。私は中国のそんなさまざまな「顔」を、できるだけ自分の目で見、頭で考えたいと思い、これまで中国語の勉強を続けてきました。ぜひ一緒に中国語の勉強を始めましょう。



黄土高原に多く見られる窯洞(洞穴式の住居。陝西省米脂県)

杉浦 崇夫先生です(健康づくりのための運動科学)

講義では、「生活習慣病予防のための運動の必要性」について話しています。しかし、毎年受診している人間ドックの結果、ついに運動は継続しているものの「高脂血症」「糖尿病」の診断がくだされてしまいました。それから一念発起、改善に向け食生活や運動を見直し実践しています。講義では、私自身のデータも紹介しながら、「生活習慣病予防のための運動とは」について考えてみたいと思います。また、運動したときに起こる体の生理・生化学的変化についても、なるべく身近な例を挙げながら、できる限り理解しやすいような講義にしたいと考えています。